

# 社長の流儀



代表取締役社長

## 佐藤 啓

Hiraku Satoh

# 社会を幸せにする 会社と社員が幸せになる 100年企業をめざして

支えている意識でやっていきましょう。

社内アンケートに若い社員の一人が、実際に書いていたことを紹介します。「一生懸命、時代に合わせて常に変化し、対応していくことで、100年後に働く車がなくなっていたとしても、もしかしたら宇宙船を作って社会に貢献しているかもしれない」。いかがですか、私はとても頼もしく、うれしい。そんな会社を目指したいと思います。

100年後を目指すために今日があります。とすれば、毎日の仕事のやりがい、目標も大切です。サニックスのお得意先は、働く車を使う会社ですが、本当のお客様は車そのものではないかと私は思っています。車と会話し、車の「ありがとう」という声を聞き、車に対する愛情と感謝を忘れたくありません。そして、仕事に対して誇りを持ち、仲間と喜びや悲しみ分かち合いながら、お互いに成功を讃え

合つとも成長していきたい。

だからといって、職人気質で自分の仕事だけやれば良いんだということではありません。常にお客さんから見られていることを意識し、明るく元気な対応を心がけるなど、接客営業もできるセールスエンジニアに転換していかなければなりません。そのため、工場の社員にも名刺を作り、メモ帳を配りました。自分の仕事に対して責任を持つ意識も高まります。

**会話とチャレンジを忘れずに  
お互いに知恵を出し合い、  
人が輝く職場をめざします**

社員が活き活きと誇りを持って働ける会社でなければ、継続しないし発展もできません。色々な事に取り組む事で、100年続く企業文化になります。そのためには部門と部門の連携、コミュニケーションは非常に大事です。そこで、社員みずからの意見を取り入れ、部門ごとの垣根を越えて集まって話をするなど、部門間のミーティングを増やすことにしました。一部門だけが優秀であるだけでなく、会社全体がすぐれたプロフェッショナル



文化になります。そのためには部門と部門の連携、コミュニケーションは非常に大事です。そこで、社員みずからの意見を取り入れ、部門ごとの垣根を越えて集まって話をするなど、部門間のミーティングを増やすことにしました。一部門だけが優秀であるだけでなく、会社全体がすぐれたプロフェッショナル

**サニックスは創業45年。  
引き継いだ私自身が、  
創業社長のつもりで、  
みなさんの気持ちを一つに**

サニックスには、いろいろな企業風土や考え方が混じりあっています。それは、会社の成り立ちや歴史に理由があります。みなさんもご存知のように、サニックスは、昭和年にニッシン自動車として設立しました。その後、経営陣が代わり、平成10年に資材会社のトーケンと、平成22年には三栄自動車工業と統合して、社名をサニックスに変更。現在に至っています。サニックスとなり5年目の節目、さらには、5年後の創業50周年に向け、私自身が創業社長のつもりで会社の進むべき方向を示す経営指針をつくり、社員全員の価値観を共有し気持ちをひとつにしていきたいと考えています。

会社は、社員や社員の家族のみならず、お客様、地域の人、仕入れ先の人たちが幸せになるためにあります。そして、会社が続いていくためには、社会にとって必要だと認めてもらえなければなりません。

人はひとりでは生きていけないから、それぞれが関わり合い、助け合っています。何事も感謝の気持ちと尊敬、愛情を持って何でも取り組んでいくことで、会社は成長します。これが私が大切にしていることです。社員は夢を共有する大事なパートナーです。その生活を守っていくことが私の使命です。

**私たちは、車の快適環境創造業。  
働く車と社会をつなぎ、安全で  
明るい未来を育みます**

ルであるために不可欠なことです。同時に、成功や失敗を共有して、讃え合う企業文化を作りたいとも考えています。社員は良い仕事をたくさんしています。しかし、なかなか褒められることがあるような環境ではないため、部門ごとに部門長が評価し、朝礼で発表してもらうことにしたのです。

## 社是

整備事業を通じて  
人格の涵養と  
技術の練磨に励み  
豊かな社会造りに  
貢献する

会長 佐藤勝彦

社是／初代社長（現会長）佐藤勝彦が創業時に掲げる当社の在り方でありバックボーン

## 経営理念

一、私たちは、  
確かな技術で  
車を見つめ、  
働く車の  
快適環境を  
創造します。

一、私たちは、  
働く車と  
社会をつなぎ、  
安全で明るい  
未来を育みます。

一、私たちは、  
真心で車と語り、  
喜びを分かち  
讃え合う、  
人が輝く職場を  
つくります。

経営理念／社長 佐藤啓が平成26年11月に発表。全従業員が共有する基本的価値観と目的意識

サニックスには、働く車の製造業、整備業、鍍金塗装業などさまざまな仕事があります。ですが、全体として「車の快適環境創造業」という全く新しい業種・業態が、私たちの会社です。働く車がその役目を果たせないと、モノを運んだり、作ったりができなくなります。社会が幸せでなくなります。そして、働く車が常に良い状態で働くためには、私たちのメンテナンスが欠かせません。

働く車に関するさまざまなサービスに総合的に対応できる、県内で唯一の工場がサニックスです。専門的な知識と技術、経験と実績を積んだスタッフ、自分で判断して対応できるスタッフがいなければなりません。例えるなら、働く車の総合病院であり、警察官や消防士、自衛隊の方と同じくらいの不可欠な仕事。社員のみならず、地域の何気ない日常や幸せを担っているのです。

ちなみに、サニックスには年間、車検で約1600台、修理も入れると8300台もの車がやってきます。カスタムメイドの新車架装も400台と、山形県ではもちろん東北でも有数の企業です。ご家族のみならずご存知だったでしょうか。

**社会に必要な役立つ会社なら  
なくなったらみんなが困ります。  
だからこそ100年続く会社に**

サニックスは、まず第一に100年続く会社を目指します。そのためには、社員全員が自発的に行動し、課題や問題を自分たちで解決できる自立型の企業であることが求められると考えます。未来を目指して一人ひとりが会社を

さらに、会社全体の集まりなどで表彰したり、社内報でもお知らせしたり、全社でお互いに褒め合える仕組みづくりにも取り組んでいます。そこから生まれる仕事に対する新しいモチベーションややる気が、これからのサニックスを必ず支えていくのです。